

平成 22 年度ふれあい行事開催報告

行事名	サロベツ森のスノーシューハイク
主催（後援）	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 環境省稚内自然保護官事務所
開催日	平成23年 1月 29日（土） A. M. 9：30～P. M. 12：00
場所	天塩郡豊富町円山地区サロベツ原生花園
参加者	参加者 18名（成年男女各9名）スタッフ 6名（NPO5名、環境省1名）
スケジュール	A. M. 9：30 サロベツ湿原センター駐車場集合 A. M. 10：00～P. M. 12：00 湿原センター駐車場から原生花園に至る森の自然観察（途中10分ほどのコーヒーブレイク） P. M. 12：15 サロベツ湿原センターにて解散
行事の概況	参加者を2班に分け、NPO本間氏と石黒氏がそれぞれの班のガイドとして樹木や野生生物についての解説を行った。また、事前に参加者に樹木の冬芽を撮影したカードを引いてもらい、散策中にそのカードと同じものを見つけたら申告するというゲームや、二人一組で周辺の樹木を体で表現してどの木か当てるというゲームも行った。
所感	1班9名ずつという人数は適正だと感じた。ガイドの解説に加えて、参加者による追加解説もあり、皆にとって良い学習の機会になったと思う。積極的に質問をするなど、自分から何かを見つけようとする参加者が多く、自然への興味を持ってもらうという企画の意図は達成できたと思うが、いくつか答えることができない質問があったのでそれは次回以降の課題としたい。ハンノキ、ミズナラ、カバノキ類、マツ類などの樹木、野鳥（コゲラとコガラ）、キツネやウサギの足跡などを観察できた。
参加費	500円（保険料）
保険の適用	レクリエーション保険への加入
その他備考	解散前に湿原センターのPRとスタンプラリーへの参加呼び掛けを行った。

<活動の様子>



森へ向け、出発！



アカゲラの食痕についての解説



この木、何の木？



ハンノキについての解説